

# 草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和元年度「デッサ県カパラムラ小学校教室建設および修繕計画」

署名式

2019年10月16日



ススウェレ=バンダ教育・科学技術大臣の臨席のもと、贈与契約の署名を行う  
岩切敏大使とカパラムラ小学校フローレンス・ドンダ校長



スピーチを行う岩切大使（左）とバンダ大臣（右）



岩切大使、バンダ大臣とカパラムラ小学校関係者

2020年2月10日（月曜日）、岩切敏大使とカパラムラ小学校のフローレンス・ドンダ校長は、「デッサ県カパラムラ小学校教室建設および修繕計画」に関する草の根・人間の安全保障無償資金協力贈与契約を締結しました。本贈与契約署名式には、ススウェレ=バンダ教育・科学技術大臣も列席しました。

この贈与契約は、カパラムラ小学校が6教室を新たに建設し、既存4教室の床を改修し、学習机や貯水タンクを設置するための資金として日本政府が90,215米ドルを同校に供与するというものです。この資金供与は、国内の教育水準改善を推進しているマラウイ政府の取り組みをサポートし、就学児童の学習環境及び教育環境の改善を図り、基礎教育・初等教育の質の向上に寄与することが期待されます。

岩切大使は、中央および地方政府を含むすべての関係者に対して、カパラムラ小学校のプロジェクト実施状況の管理を行い、合意された12ヶ月以内にプロジェクトを順調に実施し完了するよう要請しました。さらに、マラウイの教育開発のために、日本大使館として引き続き力を注ぐ用意があることを伝え、校長を含む教職員とPTAに、本プロジェクト資金を適切かつ慎重に運用し案件を成功裏に完成させるよう要請しました。

ススウェレ=バンダ教育・科学技術大臣もまた、カパラムラ小学校および地域住民が一丸となり、贈与資金の適切な管理運用を通じて、質の高い教室建設を完了させ、設置される学習机は大切に使用するよう要請しました。最後に、日本政府および国民の皆さんに対して、本プロジェクト贈与に関する謝辞が述べられました。